PT-EP10

JP	取扱説明書
EN	Instruction Manual
FR	Mode d’emploi
DE	Bedienungsanleitung
ES	Manual de instrucciones
CHS	使用说明书
KR	사용설명서

- ■ このたびは、防水プロテクター PT-EP10（以下プロテクター）をお買上げいただき、ありがとうございます。
- ■ この説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。また、この説明書はお読みになった後、必ず保管してください。
- ■ 誤った使い方をされると水漏れにより中のカメラが破損し、修理不能になる場合があります。
- ■ ご使用前には、この説明書にしたがい、必ず事前チェックを実施してください。

はじめに

- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き禁止されています。また、無断転載は固くお断りいたします。
- 本製品の不適切な使用により、万が一、損害が発生した場合、逸失利益に関し、または、第三者からのいかなる請求に対し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

ご使用の前に必ずお読みください

- このプロテクターは、水深45m以内の水中で使用するよう設計された精密機械です。取り扱いには十分ご注意ください。
- プロテクターのご使用前の取り扱い方法と事前チェック、メンテナンス、ご使用後の保管方法はこの取扱説明書の内容をよくご理解のうえ、正しくご利用ください。
- デジタルカメラの水没事故は、当社では一切その責任を負いかねます。また、水没による内部機材の損傷、記録内容や撮影に要した諸費用などの保証はいたしかねます。
- 使用時の事故（人身・物損）の補償はいたしかねます。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

JP

⚠ 警告

① 本製品を乳児、幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。以下のような事故発生の可能性があります。
  - 高いところから身体の上に落下し、けがをする。
  - 開閉部に身体の一部をはさみけがをする。
  - 小さな部品、Oリング、シリコングリス、シリカゲルを飲み込む。万が一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

② 本製品に装填されるデジタルカメラに電池を入れたまま保管しないでください。
電池を入れたまま保管すると、液漏れや火災の原因となることがあります。

③ 万が一、本製品にカメラを装填した状態で水漏れがあった場合は、カメラに装填された電池を速やかに抜いてください。水素ガスの発生による燃焼•爆発の可能性があります。

④ 本製品は樹脂製です。岩などの固いものに強くぶつけると破損し、けがをする可能性があります。取り扱いには十分ご注意ください。

⚠ 注意

① 本製品の分解、改造はしないでください。水漏れや不具合発生の原因となることがあります。当社指定者以外の者による修理、分解、改造その他の理由により生じた画像データの消失による損害及び逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねます。

② 以下のような場所で本製品を使用または保管した場合、動作不良や故障、破損、火災、内部の曇り、水漏れの原因となります。絶対に避けてください。
  - 直射日光下や自動車の中など高温になるような場所
  - 火気のある場所
  - 水深45mより深い水中
  - 振動のある場所
  - 高温多湿や温度変化の激しい場所
  - 揮発性物質のある場所

③ 砂、ほこり、塵の多いところで開閉すると防水性能が損なわれ水漏れの原因となることがあります。絶対に避けてください。

④ 本製品は装填されたカメラへの衝撃をやわらげるケースではありません。本製品にデジタルカメラを装填した状態で衝撃を与えたり、重いものを載せたりするとデジタルカメラが故障する場合があります。取り扱いには十分ご注意ください。

⑤ 洗浄・防錆・防曇・補修等の目的で、下記の薬品類を使わないでください。プロテクターに直接、あるいは、間接的（薬剤が気化した状態）に使用した場合、高圧下でのひび割れなどの原因となります。

使用できない薬品類	説　　明
揮発性の有機溶剤、化学洗剤	プロテクターをアルコール•ガソリン・シンナーなどの揮発性有機溶剤、または化学洗剤等で洗浄しないでください。洗浄は真水、または、ぬるま湯で十分です。
防錆剤	防錆剤を使用しないでください。金属部分はステンレスおよび真鍮を使用しており、真水による洗浄で十分です。
市販防曇剤	市販の防曇剤を使用しないでください。必ず指定の防曇剤シリカゲルを使用してください。
指定外のシリコングリス	Oリングに指定品以外のシリコングリスを使用しないでください。Oリングの表面が変質して、水漏れの原因となります。
接着剤	補修などの目的で接着剤を使用しないでください。補修が必要な場合は販売店または弊社サービスステーションにご相談ください。

⑥ プロテクターを持ったまま水中に勢いよく飛び込んだ場合や船上から海へ放り投げる等、乱暴に扱うと水漏れする場合があります。手渡しをする等、取り扱いには十分ご注意ください。

⑦ 万が一、水漏れ等でプロテクターの内部及びカメラが濡れた場合は直ちに水分を拭き取り、サービスステーションへご相談ください。

⑧ ズームダイヤル部、三脚座、アクセサリー取り付け部等には過大な力をかけないでください。

⑨ 飛行機で移動する場合は、O リングを取りはずしてください。気圧の関係でプロテクターが開かなくなることがあります。
⑩ 本製品に装填されるデジタルカメラを安全にお使いいただくために、デジタルカメラの取扱説明書をよくお読みください。
⑪ 本製品を密閉する際はO リングおよびその接触面に異物を挟みますと防水性が損なわれ、水漏れの原因となることがあります。十分にご注意ください。
⑫ レンズポートは取りはずしできません。

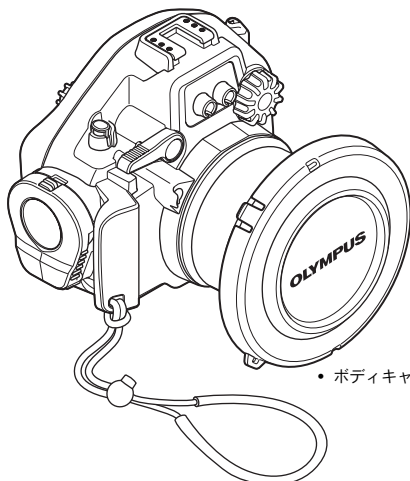
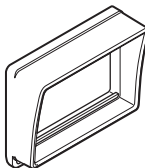
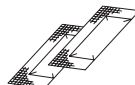
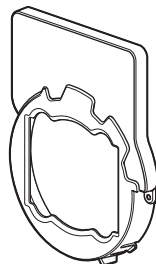
もくじ

JP

JP

1. 準備をしましょう

箱の中を確認します

箱の中の付属品はすべてそろっていますか。
万が一、付属品が不足していたり、破損している場合はお買上げ販売店までご連絡ください。

• 光ファイバーケーブル
差込口キャップ (2個)

• フラッシュ窓カバー

• ディフューザー

• 取扱説明書（本書）

⚠ 注意:

• ご購入後、新品の状態でも必ずメンテナンスを行ってください。メンテナンスを怠りますと水漏れの原因となる場合があります。
メンテナンスの方法はP.20をご覧ください。

JP

各部名称

① 開閉ダイヤル
② スライドロック
※ ③ シャッターレバー
※ ④ ON/OFFボタン
⑤ アクセサリ取り付け部
⑥ 光ファイバーケーブル差込口
⑦ ズームダイヤル
※ ⑧ ▶（再生）ボタン
※ ⑨ 🗑（消去）ボタン
※ ⑩ モードダイヤルノブ
※ ⑪ ▦/Fnボタン
※ ⑫ 🔍ボタン
※ ⑬ ●（REC）ボタン
※ ⑭ **INFO**（情報表示）ボタン
※ ⑮ ☒（露出補正）ボタン/十字ボタン ▲
※ ⑯ ⚡ボタン/十字ボタン ▶
※ ⑰ **OK**ボタン
※ ⑱ ▭◌ボタン/十字ボタン ▼
※ ⑲ **MENU**ボタン
※ ⑳ [···]ボタン/十字ボタン ◀
㉑ 液晶モニタ窓
㉒ 液晶フード
㉓ Oリング
㉔ 液晶インナーフード
㉕ 三脚座

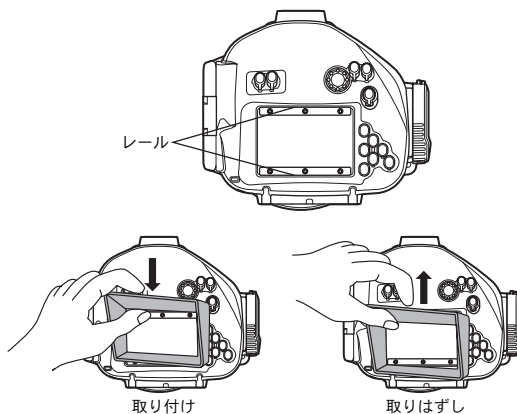
JP

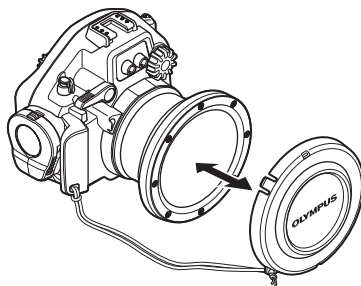
> メモ:
> ※印のプロテクター操作部はデジタルカメラの各操作部に対応しています。プロテクター操作部を操作することによってデジタルカメラの対応する機能が動作します。詳しい機能の内容についてはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

付属品の使い方

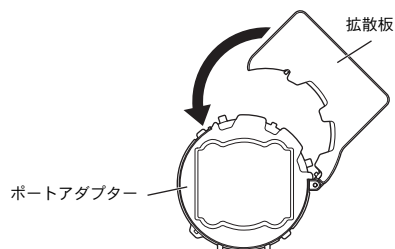
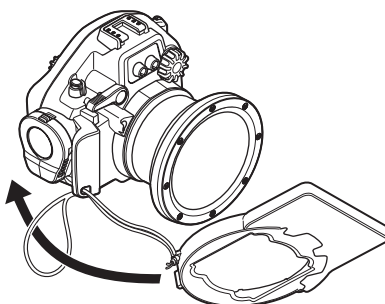
液晶フードの取り付け方、取りはずし方

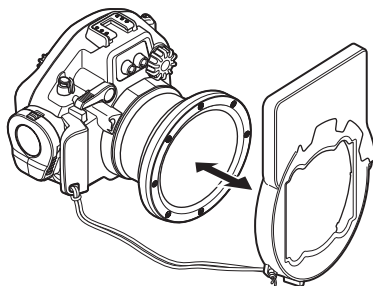
■ 取り付け方
図のように液晶フードを液晶モニタ窓上下のレールに順番にはめ込みます。

■ 取りはずし方
液晶フードを外に拡げるようにして、液晶モニタ窓上下のレールから順番に取りはずします。

ボディキャップの取り付け方、取りはずし方

ボディキャップのツメとレンズポートの凹部が合うように、はめ込んで取り付けます。撮影前にボディキャップを取りはずしてください。

JP

ディフューザーの取り付け方

① ポートアダプターに拡散板を取り付けます。

② プロテクター本体にストラップを取り付けます。

③ ディフューザーをプロテクターに取り付けます。

JP

2. プロテクターの事前チェックをしましょう

使用前の事前チェック

本プロテクターは、製造工程での部品の品質管理および組立工程での各機能検査などを厳重に実施しています。さらにすべての製品は高水圧試験機により水圧試験を実施し、仕様通りの性能が守られているか検査を行い合格したものです。
しかしながら、持ち運びや、保管の状態、メンテナンスの状況など何らかの原因で防水機能にダメージを受ける場合があります。
ご使用前には、必ず事前チェックを実施してください。

事前チェック

① デジタルカメラをプロテクターに装填する前に、空の状態で水漏れの有無を確認してください。
ご使用になる水深に沈めて確認する方法が一番適切ですが、この方法で確認できない場合は、「水漏れテスト」（P.15）を参考にテストしてください。

② 水漏れ事故は、主に以下のことが原因で起こります。
- O リングの取り付け忘れ
- O リングの一部または全部が所定の溝からはずれていた
- O リングの傷やヒビ、または変質・変形
- O リングやO リング溝、前蓋部O リング接触面への砂・繊維くず、髪の毛など異物の付着
- 前蓋部O リング接触面やO リング溝内の傷
- プロテクターを閉じる際の付属ストラップやシリカゲルの挟み込み

テストは上記の原因を取り除いて行うようにしてください。

⚠ **注意**:
万が一、事前テスト中に正常な取り扱いで水漏れが確認された場合はご使用を中止し、商品お買上げの販売店またはオリンパスサービスステーションにご相談ください。

JP

3. デジタルカメラを装填しましょう

デジタルカメラをチェックします

本プロテクターに装填する前にデジタルカメラをチェックします。

1. 電池の確認

プロタクターをご使用中は電池交換ができません。電池残量が十分あることを確認してください。

2. 撮影可能枚数の確認

記録メディアの撮影可能枚数が十分にあることを確認してください。

3. デジタルカメラのストラップやレンズキャップ、フィルタをはずしてください。

デジタルカメラのストラップ、レンズキャップ及びフィルタをはずさずに装填した場合、プロテクターが正しく閉まらず、水漏れの原因となることがあります。

4. 本プロテクターに装填する際は、カメラのグリップをはずしてください。

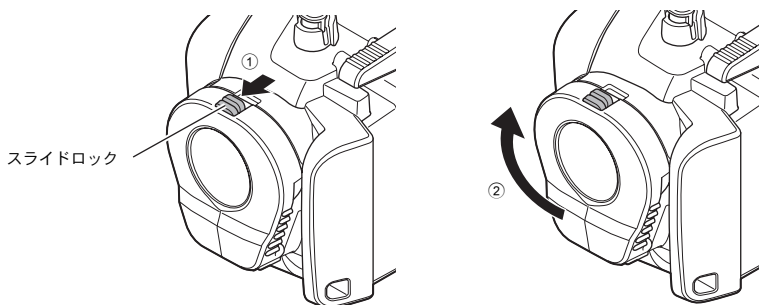
5. ズームギア（別売）と反射防止リング（別売）を取り付けてください。

詳しくは、ズームギアと反射防止リングの取扱説明書をご覧ください。

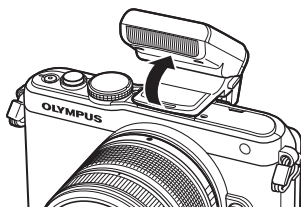
	ズームギア	反射防止リング
M.ZUIKO DIGITAL ED 14-42mm	PPZR-EP01	POSR-EP01
M.ZUIKO DIGITAL 14-42mm II/IIR	PPZR-EP02	POSR-EP03/05
M.ZUIKO DIGITAL ED 9-18mm	PPZR-EP02	POSR-EP02
M.ZUIKO DIGITAL ED 60mm Macro	PPZR-EP03	–

※ M.ZUIKO DIGITAL ED 12-50mmは、ズームギアおよび反射リングを使わずに使用できます。使用する際は、レンズのズームリングを「E-ZOOM」に合わせてください。
詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

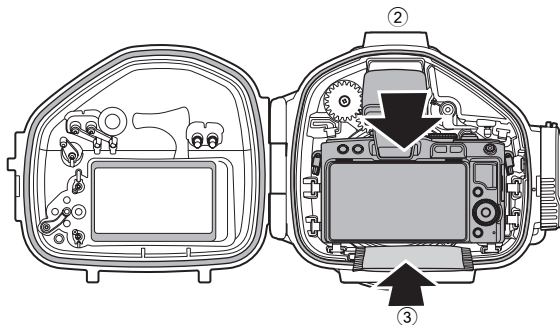
プロテクターを開けます

① スライドロックを矢印の方向 (①) にスライドさせながら、開閉ダイヤルを時計回り (②) に回します。
② プロテクターの後蓋を静かに開きます。

> ⚠ 注意:
> 開閉ダイヤルに無理な力を加えて回さないでください。破損する場合があります。

カメラにフラッシュを取り付け、発光部を持ち上げます

カメラに付属のフラッシュを取り付けます。
フラッシュは必ず発光部を持ち上げてください。

JP

デジタルカメラを装填します

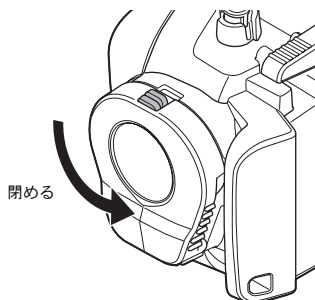
① デジタルカメラの電源がOFFになっていることを確認します。
② デジタルカメラを静かに装填します。
③ カメラ底面とプロテクターの間に、シリカゲル1gを入れます。
シリカゲルは結露による曇りを抑える乾燥剤です。

⚠ 注意:
- プロテクター密閉時にシリカゲルを挟み込むと、水漏れの原因になります。
- 一度使用したシリカゲルは吸湿性能が衰えています。シリカゲルはプロテクター開閉時に毎回交換することをおすすめします。
- プロテクター側及びカメラ側のダイヤル類表面を清掃してください。
付着したグリスや異物によって、ダイヤルスリップを引き起こす場合があります。

装填状態のチェックをします

プロテクターを密閉する前に、以下の通り各部のチェックをします。
- デジタルカメラは正しく装填されているか。
- シリカゲルは指定された位置に奥まで挿入されているか。
- プロテクター開口部のＯリングは正常に装着されているか。
- Ｏリングと前蓋部のＯリング接触面にゴミなどの異物が付着していないか。
- 防水機能のメンテナンスは行ったか。(メンテナンスは「防水機能のメンテナンスをしましょう」（P.20）をご覧ください。)

JP

プロテクターを密閉します

① プロテクターの後蓋の凸部を開閉ダイヤルの溝部に合わせ、静かに閉じます。
② 開閉ダイヤルを反時計方向に回します。
  • プロテクターが密閉されます。

⚠ 注意 :
• 開閉ダイヤルを十分に回していない場合は、プロテクターが密閉されずに水漏れするおそれがありますので、ご注意ください。
• レンズキャップ、液晶フードのストラップを挟み込まないようにプロテクターの後蓋を閉じてください。挟み込まれた場合は水漏れの原因となります。

ディフューザーを取り付けます

• 光ファイバーケーブル差込口にキャップはしないでください。

装填後の動作チェック

プロテクター密閉後、カメラが正しく機能するか動作チェックをします。
• プロテクターのON/OFFボタンを操作し、カメラの電源がON/OFFできるか。
• プロテクターのモードダイヤルノブを操作し、カメラの撮影モードが正しく切り換わるか。
• プロテクターのシャッターレバーを操作し、カメラのシャッターボタンを操作できるか。
• プロテクターのズームダイヤルを操作し、レンズのズーム操作ができるか。
• その他、プロテクターの各種操作ボタンを操作して、カメラが機能するか。

JP

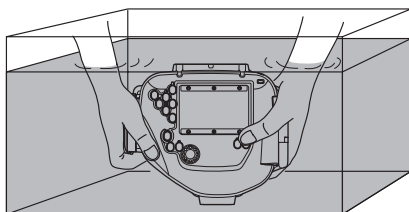
水漏れテスト

ここではカメラ装填後の最終水漏れテストをご紹介します。必ず行いましょう。水槽またはバスタブなどで簡単に行えます。ボタン類を操作して動作を確認します。
所用時間約5分

- 最初は3秒だけ水につけ、プロテクター内部に水滴等がないか確認します。
- 次に30秒水につけて、プロテクター内部に水滴等がないか確認します。
- さらに3分つけて、全てのボタン、レバーを操作し
  - プロテクターの内部に水が溜まっていないか
  - プロテクターの内部が曇っていないか
  - プロテクターの内部に水滴がないか

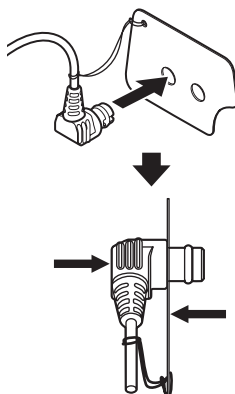
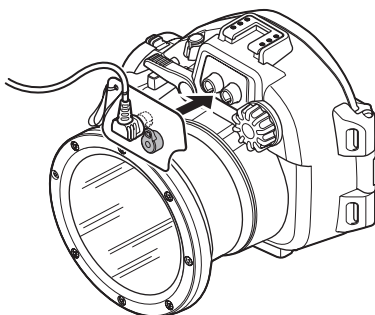
確認します。

- 内部が曇ったり、水滴がある場合は、もう一度Oリングのメンテナンスを行い、再度水漏れテストを実施してください。

JP

4. 水中フラッシュへの接続方法

別売の水中フラッシュ UFL-2を水中光ファイバーケーブル（別売：PTCB-E02）で接続して撮影を行う場合、下記の手順にしたがって接続します。

水中光ファイバーケーブルの接続

① 水中光ファイバーケーブルのコネクタを光ファイバーケーブル差込口に差し込みます。
その際、フラッシュ窓カバーをはさんで、止まるまでしっかりと差し込んでください。

② 使用しない光ファイバーケーブル差込口にはキャップを取り付けます。

デジタルカメラの設定

カメラのRCモードをONに設定して、内蔵フラッシュを発光できる状態にします。

UFL-2もRCモードに設定します。
詳しくは、UFL-2の取扱説明書をご覧ください。

UFL-1をご使用の場合も光ファイバーケーブルを同様に接続します。
カメラのRCモードはOFFにしてください。

JP

5. 水中での撮影方法

撮影シーンの選択方法

Fnボタンに割り当てることで、水中モードを簡単に設定することができます。
「MENU」⇒「」内「」⇒「ボタン機能」で「/」を選択し「OK」ボタンを押します。
※「MENU」⇒「」内「メニュー表示」を「ON」にしておく必要があります。

メモ:
- Fnボタンを押すたびに水中ワイド、水中マクロを切り替えることができます。
- モードダイヤルを回すか、Fn ボタンを長押しすると水中モードを解除することができますが、Fn ボタンを押すことで水中モードに切り替わります。
- ただしSCN、iAUTO、動画モードではFnボタンを押しても水中モードにはなりません。

詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

水中撮影シーンの種類

■ 水中ワイド
水中で魚群など広範囲の景色を撮るのに最適です。背景の青がより鮮やかに見えるように撮影します。

■ 水中マクロ
水中で魚などの生物に近接して撮るのに最適です。水中の自然な色を再現して撮影します。

⚠ 注意:
動画撮影時には、カメラの動作音が記録されることがあります。

JP

6. 撮影終了後の取り扱い方法

水滴を拭き取りましょう

水中撮影終了後、陸または船に上がったらプロテクターに付いている水滴を拭き取ります。プロテクターの前蓋・後蓋の隙間、シャッターレバー、開閉ダイヤルに付いている水滴などを繊維くずの出ない柔らかい布やエアーを使って丹念に除去します。

⚠ 注意:
特にプロテクターの前蓋と後蓋の間に水滴が残っていると、プロテクターを開けた際にその水滴がプロテクター内にこぼれるおそれがあります。特に念入りに水滴を除去してください。

デジタルカメラを取り出します

プロテクターを静かに開き、装填されているデジタルカメラを取り出します。

⚠ 注意:
- プロテクターを開ける際、髪の毛や身体から落ちる水滴をプロテクター内部やカメラに落とさないよう十分ご注意ください。
- プロテクターを開ける際、手や手袋に砂・繊維くず等の異物がついていないことを確かめてください。
- 水しぶきや砂のかかる恐れのある場所ではプロテクターを開閉しないでください。電池や記録メディアの交換をするためにやむを得ず開閉する場合は、物陰でシートを敷く等、水しぶきや砂のかからないようにしてください。
- 海水のついた手でデジタルカメラや電池に触れないよう注意してください。

プロテクターを真水で洗います

ご使用後のプロテクターは空のまま再度密閉してできるだけ早く真水で十分に洗います。
海水で使用した場合は、塩分を落とすために真水に一定時間（30分～1時間）浸けておくと効果的です。

⚠ 注意:
- 部分的に高い水圧がかかると水漏れするおそれがあります。プロテクターを水洗いするときは装填したデジタルカメラを取り出してから行ってください。
- 本製品のシャッターレバーや各種ボタンを、真水中で操作してシャフトに着いた塩分を洗い落としてください。分解しての清掃は決してしないでください。
- 塩分が付着したまま乾燥させた場合、機能に支障を来たすおそれがあります。使用後は必ず塩分を洗い落としてください。

JP

プロテクターを乾燥させましょう

真水洗い後、塩分のついていない、繊維くずの出ない乾いた柔らかい布で水滴を拭き取り、風通しの良い日陰で完全に乾燥させてください。

⚠ **注意**:
乾燥させるためにヘアードライヤーなど温熱風を使用したり、直射日光に当てることはしないでください。
プロテクターの劣化・変形やOリングの劣化を早め水漏れの原因になります。
プロテクターを拭く際は拭き傷を付けないようご注意ください。

JP

7. 防水機能のメンテナンスをしましょう

Oリングは消耗品です。ご使用の都度メンテナンスをしてください。また、本製品ご購入直後でも、メンテナンスは必ず行ってください。防水機能のメンテナンスを怠ると水漏れの原因になります。
手をきれいに洗って乾かしてから、砂や埃のない場所で行ってください。

O リングを取りはずします

プロテクターを開けて、プロテクターに装着されているO リングを取りはずします。

O リングの取りはずし方

① O リングとO リング溝の壁の間にO リングリムーバーを差し込みます。
② 差し込んだ O リングリムーバーの先端を O リングの下にくぐらせるようにします。（O リングリムーバーの先端で溝を傷付けないよう注意してください）
③ 浮き上がったO リングを指先でつまんでプロテクターからはずしてください。

砂・ゴミなどを取り除きましょう

目視で O リングについたゴミを取り除いた後、O リングを指でつまんで全周を軽くしごくと、砂などの異物の付着や傷・ヒビ割れの有無が確認できます。
各 O リング溝は繊維の出にくい清潔な布、またはかすの出にくい綿棒などで付着した異物を取り除きます。プロテクターのO リング各密着面も同様に付着した砂・ゴミを取り除きます。

⚠ 注意:

- O リングを取りはずすときや溝内部をクリーニングするときに､先端の鋭利なものを使用するとO リングやプロテクターに傷を付けて水漏れの原因になることがあります。
- 指先でO リングをしごいて検査する際に、O リングを引き伸ばさないように注意してください。
- O リングを洗浄する際には、アルコール・シンナー・ベンジン等の溶剤、または化学洗剤の使用は絶対に避けてください｡これらの薬品を使用すると､O リングに損傷を与えたり､劣化を早めるおそれがあります。

JP

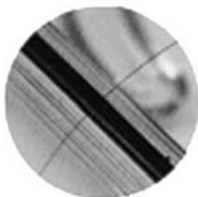
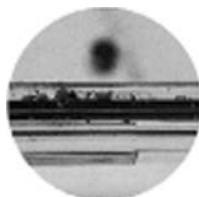
O リングを取り付けます

異物のないことを確認後、O リングに薄く付属のシリコングリスを塗り、溝に O リングをはめ込みます。このとき、溝からO リングのはみ出しがないことを確認します。
本製品を密閉する際には、Oリングだけではなくその接触面（前蓋側）にも髪の毛、繊維くず、砂粒等の異物がついていないことを確認してください。
たとえ、髪の毛一本、砂粒一粒が挟まっても、水漏れの原因となります。特に念入りに確認してください。

O リングへのグリス塗布方法

① 専用グリスをつけます。		指やＯリングにゴミの付着がないことを確認し、専用のグリスを指に5ミリ程度取り出します。（グリスの量は5ミリ程度が適切）
② グリスを全体に伸ばします。		指にとったグリスを3本の指で挟むように全体に伸ばしていきます。あまり力を入れてＯリングを引っ張らないように注意してください。
③ 傷や凹凸がないかチェックします。		全体になじんだグリスを確認して、手の感触と目で傷や凹凸がないかチェックしてください。傷があったら新品のＯリングに必ず交換します。

⚠ 注意:
- 水中撮影ごとにプロテクターを開けた場合は防水機能のメンテナンスを必ず実施してください。防水機能のメンテナンスを怠ると水漏れの原因となります。
- 長期間使用しない場合は、Ｏリングの変形を避けるためにＯリングを溝からはずしてシリコングリスを薄く塗り、清潔なポリ袋などに入れて保管してください。

Ｏリングへの異物付着の一例

髪の毛　繊維屑　砂粒

消耗品は取り替えましょう

- Ｏリングは消耗品です。プロテクターの使用回数にかかわらず、少なくとも1年以内に新品と交換することをおすすめします。
- 使用状況、保管状況によってはＯリングの劣化が早まります。傷・ヒビ割れが入っていたり弾力が低下していたら1年未満でも交換してください。

⚠ 注意:
- 消耗品のシリコングリス、シリカゲル、本体用Oリングはオリンパス純正品をお使いください。
- 操作ボタン部のOリングはお客様による交換はできません。
- 定期的な点検をおすすめします。

JP

8. 付録

仕様

防水プロテクター	PT-EP10
対象カメラ	E-PL5
許容水深	水深45 m以内
主要材質	本体：ポリカーボネート Oリング：シリコンゴム
サイズ	幅175 mm×高さ154 mm×奥行168 mm
質量	約1,150 g (カメラ含まず)
水中重量	約－73 g (淡水中) (カメラ（フラッシュ含む)、レンズ14-42mm IIR、ズームギア、 反射防止リング、バッテリー、メディア、ディフューザー、 ハンドストラップ、液晶フード含む)

※ 外観・仕様は改善のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

PT-EP10 付属品

Oリング：POL-EP03
シリコングリス：PSOLG-2
シリカゲル：SILCA-5S
液晶フード：PFUD-EP05
ボディキャップ：PBC-EP01
ディフューザー：PTDP-EP05
フラッシュ窓カバー：PFC-EP05
Oリングリムーバー :PTAC-05

その他別売品

シリコングリス：PSOLG-3
水中光ファイバーケーブル：PTCB-E02
ブラケット：PTBK-E01/PTBK-E02
ショートアーム：PTSA-02/PTSA-03
水中フラッシュ：UFL-2/UFL-1
水中マクロコンバージョンレンズ：PTMC-01
マクロレンズアダプタ：PMLA-EP01
ズーム（フォーカス）ギア：PPZR-EP01/PPZR-EP02/PPZR-EP03
反射防止リング：POSR-EP01/POSR-EP02/POSR-EP03/POSR-EP05
バランスウェイト：PWT-1BA/PWT-1AD

※ PTBK-E01と本製品を組み合わせてご使用になる場合、ネジ部に専用のワッシャーが必要となります。
専用ワッシャーが同梱されていないPTBK-E01をお持ちのお客様は､カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

付属品は販売しております。記載されている型番以外の製品はご使用できません。

JP

オリンパス イメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問合せ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーコール **0120-084215**

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX　042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています

● オンライン修理受付のご案内

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）も、オンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● ピックアップサービス（引取修理）のご案内

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様ご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：　「オリンパス修理ピックアップ窓口」

フリーダイヤル **0120-971995**

営業時間：平日8:00～21:00 土・日・祝日9:00～17:00（指定休業日を除く）

※ 記載内容は変更されることがあります。